



パールだより

スタッフが輝く歯科医院



院長 佐々木 良二

私はいつも、スタッフがいきいきと輝いている歯科医院でありたいなと思っています。

その為にはどうしたらいいのかと考えて行動することもあります。人間としても成長して欲しいし、今の生活も大切にして欲しいと思います。

今、パール歯科はスタッフに恵まれ、かなりそんな感じで出来てきているように思うのですが、皆さまはどうお感じになりますか？

朝礼では、「職場の教養」という本を輪読して、最後にハイタッチをします。朝からテンションをあげて仕事をするためです。

副院長の前原も、もうすっかりパールにいらなくてはならない大切な存在になっています。複数の歯科医師の体勢で有利な面もたくさんあります。行き違いを防ぐために毎日の症例検討をして、連携ミスが起こることを防いでいます。

先日あるスタッフの10周年のお祝いをしました。とても和やかな楽しい会でした。ステキなスタッフにパワーをもらいつつ、私も診療を続けていきたいと思えます。

生物の種類による歯のちがい



副院長 前原 聡

皆さまお久しぶりです。

今回のお話は私たち人間以外の身近な生き物の歯についてです。

皆さま、歯の定義ってご存知でしょうか？

正確には顎を持つ生物の口の中や周辺に並ぶ硬い構造物で、捕食や摂食に使用する器官と定義づけられています。よって、クモ類や昆虫から「歯」という臓器が存在することになります。



しかし、人間のように骨と歯がしっかり結合している生物は哺乳類だけで、ウミガメや鳥類のように顎の骨と一体化しすぎて「くちばし」に分化した生物もいます。

そのほか魚類や両生類、爬虫類（カエルや蛇など）は皮膚（歯ぐき）と歯がくっついているだけなので、ムリに引っ張ったりすると簡単に抜けてしまいます。ただ、このような生き物、特にサメなどはいつ歯が抜けてもいいように歯の後ろ側にさらにスペアの歯があり、歯が抜けたままになってしまうことはありません。



ちなみに、マムシなど毒ヘビの毒牙は厳密には歯とは言えず、キバに分類されます。

この場合、キバとは戦う道具、またはオスがその優位性を示すための道具として区別され、捕食や摂食に使用する歯とは区別されます。

しかしながら、象の牙（象牙）は食べ物を探すために土を掘り起こすための切歯（前歯）となっていて、「牙」の名前がついてますが、歯なのです。このあたりはややこしいですね。





さて、人間以外の哺乳類の歯の構造はどうでしょうか？

ほ乳類の歯は表層から硬いエナメル質、象牙質、神経の入った歯髄があり、動物によって歯の大きさや形は異なりますが、それぞれの構造や硬さはほぼ同じです。

そういった理由で、歯科材料・機器の開発や研究の際に使用されるのは主に牛の歯（下の前歯を使用します）でして、その使用方法もISO規格（国際標準規格）に規定されているくらいです。また、最近の獣医さんは犬や猫のおし歯の治療を行う事が増えていますが、使用される機械や材料は全て人間用のものです。このように、ほ乳類の歯の構造や機能がほぼ同一であるから器具の共用ができるのです。

また、ゲッ歯類（ネズミヤリス）を除く哺乳類は乳歯があり、それが抜けて永久歯が生えてきます。犬や猫を子供の頃から飼育されている方々は子犬や子猫の歯が抜けて、口から血が出ている場面をみられご存じの方もいらっしゃるかもしれません。このように歯の交換が一生に一度行われる点についても共通点がみられます。

一方で特殊な例としては、ネズミヤリスの前歯は常に伸びるようになっていて、歯が伸びすぎて自分の唇や喉を傷つけないためにもずっと硬い物を前歯で噛むことで歯をすり減らす必要がある動物もいます。

ほ乳類の歯の大きさは身体の大きさ以外に平均寿命にも関連があるとの研究報告があります。歯は上と下の歯が食事の際にぶつかりこすれ合うことで徐々に摩耗（すりへり）がおきます。最終的には歯がなくなってしまいうくらいまで磨り減る事が自然界ではおきます。

しかし、歯がすり減ったり、抜けたりして噛めなくなる、あるいは食物を捕食できなくなるような状態は、自然界では死を意味します。つまり寿命に見合うだけの（すり減っても大丈夫な）大きさの歯が動物には備わっていると考えられます。



一方、人間の場合、推定年齢40歳代の戦国武将の骨が発掘されたときに分析された歯のすり減り具合、あるいは歯の抜け方は現在の70歳代と同等であるという報告があります。言い換えると、本来備わった歯の機能や大きさから人の寿命は「人間50年・・・」という台詞がぴったりなのかもしれません。

もちろん食の変化（種類や調理技術）が人間の寿命が延びた一因だと思いますが、医学、とりわけ私達が携わる歯科医学において歯の寿命を延ばす（適切な処置をする）ことが人の寿命にも影響を与えることが考えられ、あらためて重要な仕事をしているなど・・・身が引き締まる思いがします。

綺麗に並んだアカミズの歯。
餌を逃がさないように歯が
内側を向いている



夏に副院長がとってきたあかみずちゃん

予約日の前日お知らせサービス（メールでお知らせします）

パール歯科では、予約を取られた方に 予約日の前日の
12:30分頃 お知らせメールを送るサービスを始めます

★登録方法としては★

1. ご自分の携帯電話にパール歯科のQRコードを読み込んでください
2. 患者様番号を入力します（スタッフがお手伝いします）
3. パール歯科に送信します
4. 確認の返信メールがすぐに送られます
5. 手続き完了です

※このサービスをご利用希望の方は、スタッフにご連絡下さい
携帯電話の操作に自信のない方は、スタッフが登録いたします

★注意点として★

1. このサービスは**すでに取られた予約日時のお知らせ**のみで、メールで予約を取ることはできません。
2. パール歯科からの予約日時の受信のみで、患者様からの問い合わせ 等の送信はできません。



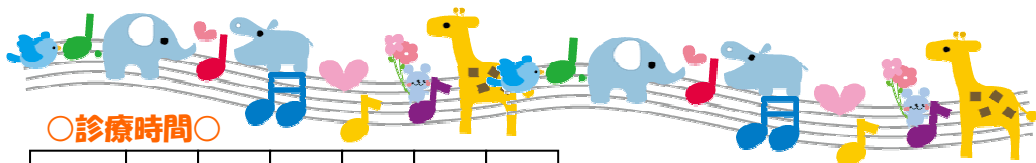
★当院は完全予約制です★

急患(当日お電話での予約など)診療は、
お待ちいただく場合がございます

予約なしのご来院は、予約患者様優先ですので、
後日の来院をお願い頂く場合がございます

予約の患者様優先ですのでご了承ください

パール歯科 院長



○診療時間○

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

受付時間

午前 9:00~13:00

午後 15:00~18:00

★休診日★祝祭日・日曜日・木曜日・土曜日の午後

●予約についてのお願い●

パール歯科では、患者様により良い診療を受けていただくために予約制にしています。

最近予約が取りにくい状況で、大変ご迷惑をおかけしております。患者様の中には、無断でキャンセルされる方もいらっしゃいますが、キャンセル待ちをされている患者様もいらっしゃいますので、ご都合が悪い場合には、連絡をお願いいたします。

